



今月の植物



何の花? こたえは↓↓↓

さくら新聞

令和5年6月1日発行
 石神井町さくら保育園
 〒177-0041
 練馬区石神井町7-25-45
 TEL 3997-0070
 FAX 3997-0972



～笑顔de共育で～

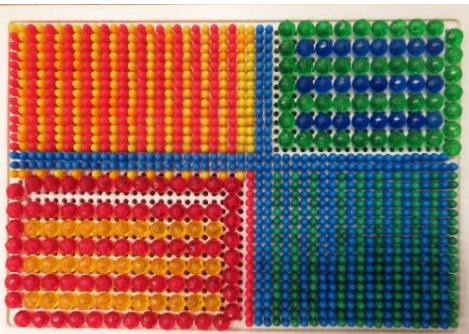


月の主題：梅雨期を元気に
 今月の保育のねらい：健康に配慮し
 梅雨期を快適に過ごす

注意力ってなあに

注意力があるというと、イメージするのは、ひとつのことに気持ちを向けているような状態を想像しますが、実際は違うそうです。

これは「モザイクステッキ」という小さなステッキを穴の空いたボードに挿して、模様を作っていくおもちゃで、4歳児クラスのお子さんの作品です。



こんな緻密な作品を作ることは、さぞかし集中して取り組んだからだろう、この遊びに入り込んでいたからだろう、と思います。

ところが、このお子さんは、①椅子に座って自分の体を支えながら、②次は何色を挿そうかと考えながら、③欲しい色のステッキを探しながら④穴にステッキを挿しながら、⑤隣で同じおもちゃで遊んでいる友だちの作品を時々見ながら⑥段々きれいな模様ができてきたな、全部埋めたらどうなるかなと、完成の模様を予想しながら取り組んで出来上がった作品です。

こうやって、同時にいくつものことに注意を払って、ひとつの考えや行動を仕上げることで、これが『注意力』というものだそうです。

* 注意力は、段取りを立てて、取り組む力

同時にいくつものことに注意を配ることができるといえるのは、まず、これをして、次にこれをして・・・と段取りを立てて取り組む力にもつながっています。

* 注意力は我慢する 気持ちを育てる

段取りを立てるといえるのは、取り組む行動を順序だてて、最後まで、やり遂げていくことです。そして、時間がかかっても最後まで取り組み続けることは、我慢する気持ちにつながる、時間の感覚が生まれることにもつながること。

時間の感覚は、身体で時間を推しはかる感覚でもあり、毎日ほぼ同じ時間に同じ活動を繰り返して、一定の生活リズムを行うことが時間の感覚が育つことにもつながっているそうです。

つまり、子どもたちが待てない我慢できないというのは、性格や育ちの問題ではなく、時間の感覚が、まだ身につけていない状態とも言えるのです。

さて、子どもの行動に戸惑うことが様々な場面であるかと思いますが行動の特徴は、注意を払う範囲が広いのか狭いかもポイントになってくるそうです。

6月 行事予定

日	曜日	内容
1	木	情報伝達訓練
6	火	身体計測(乳児)
8	木	身体計測(幼児)
13	火	おはなし会(幼児)
14	水	歯科健診(全園児) アートくらぶ(4歳児クラス)
15	木	アートくらぶ(5歳児クラス)
16	金	0歳児健診
21	水	ニコニコフォト撮影日
22	木	保護者会(0歳児クラス)
23	金	不審者対応訓練

※絵本貸出開始(全園児)

貸出：毎週(木) 返却：(月)

*ゲーム貸出(5歳児クラス)

貸出：毎週(水)(木)(金) 返却：(火)

「うちの子は、どうして、保育園に行くまでの時間がすごくかかるのかしら」
 「どうして、ごはん中ずっと座っていられず、立ち歩いてしまうのかしら」
 「どうして毎日、同じことを言っても」
 わかってくれないのだから」など子育ての中で途方にくれてしまうことは、たくさんあるかと思えます。

先日、お知らせしました、今年度の育児講座でお話しくださる野藤弘幸さんは、大人が、とほほと困ってしまう子どもたちの姿が、なぜおこっているかを解き明かし、子ども自身が困っていることを子どもに代わって話してくださる方です。

野藤弘幸さんのお話ですが、少しでも親子の共育のヒントになればと願っています。

そこで

育児講座のおしらせ

日時：7月1日(土)9:45~11:15 *ZOOM併用

テーマ：『子育ての悩み、迷い、モヤモヤにおこたえます』

講師：野藤 弘幸氏 (作業療法学博士)

皆さんからの質問にお答えします。詳細は、別紙でお知らせしますぜひ、ご参加ください!!

